

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2303121	博物館資料論 Museum Materials	松村 淳子	専門	2	選択	2年集中後期

科目の概要

博物館活動の根幹である「資料」について多角的に検証する。博物館が取扱う資料の収集・保存についての基本的な知識を習得し、資料を活用していくための展示、教育普及活動についての歴史と現状について理解を深める。講義形式を中心に知識を深め、展示プラン作成などの実践も交える。講義期間中の1日を現場見学とし、博物館での実際について理解する。

学修内容	到達目標
① 博物館における資料の意義、収集についての基礎的な事項を学修する。	① 博物館における資料意義、収集についての基礎的な事柄が理解できる。
② 博物館における資料の扱いや分類・整理について基礎的な事柄を理解する。	② 博物館における資料の扱いや分類・整理について基礎的な事柄が理解できる。
③ 博物館での展示の実際を知り、資料の活用として現在の博物館が行っている実際の活動(展示・教育普及活動)について学ぶ。	③ 博物館展示の実際を知り、資料の活用として現在の博物館が行っている実際の活動(展示・教育普及活動)について理解できる。
④ 博物館での資料の活用に関する教育理論について学ぶ。	④ 博物館での資料の活用に関する教育理論について理解できる。
⑤ 博物館での展示の実際を知り、資料の活用の実践について試行する。	⑤ 博物館での展示の実際を知り、資料の活用の実践について試行し考察することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	課題内容に関わる事柄について授業内外において、必要な文献や資料などを見つけて自ら探求することができる。
	働きかけ力	
	実行力	授業以外の時間を使い、課題について調べたことを自分で記述することができる。
考え抜く力	課題発見力	授業内外で得た情報について、事実に基づいて客観的な整理をし、課題を見つけることができる。
	計画力	
	創造力	自ら見つけた課題に対し、多角的な視点で解決案を提案することができる。
チームで働く力	発信力	自ら調査、検討した事柄について順序を整理して、工夫された発表をすることができる。
	傾聴力	自分と違う意見に対しても、異なる価値観や意見を尊重し、さらに自分の意見を述べることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、グループワークを尊重した態度をとることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：使用しない。毎回プリントを配布。
参考文献：講義内で随時紹介する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：その他の博物館学芸員資格に必要な科目と関連している。

資格との関連：博物館学芸員

学修上の助言	受講生とのルール
可能な範囲で博物館、美術館へでかけること。 毎回講義内容に関する小レポートを課すので、授業内容を復習すること。	講義中は、携帯電話、タブレットはマナーモードにしてカバンにしまうこと。当日欠席により課題提出が遅れる場合は、事前連絡があった場合のみ事前事後に受付けます。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験		①		
		②		
小テスト	7	①	✓	①②③④複数回出題される小テストの提出(穴埋め問題を中心に出題し、講義内容を理解できているか確認する。範囲は各時点までの講義で学習した内容とする。)(1点×7回)
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
レポート	47	①	✓	・毎回講義内容に関するテーマで出題される小レポートの提出(2点×15回) ③現場見学から学んだ事柄についてまとめたレポートの提出(3点×1回) ⑤④成果発表に関するテーマで出題されるレポートの提出(2点×2回) ・15週目が終了した段階で出題されるテーマに関するレポートの提出(10点×1回)
		②	✓	
		③	✓	
		⑤	✓	
		⑥		
成果発表 (口頭・実技)	26	①	□	②③複数回出題される課題に関して調査したことについて発表を行う。(2点×3回)(実行力、課題発見力、発信力) ④10～11週の内容について理解度を確認するため発表を行う。(10点×1回)(主体性、創造力、発信力、傾聴力) ⑤12～14週の内容について理解度を確認するため発表を行う。(10点×1回)(主体性、創造力、発信力、傾聴力)
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑥	✓	
作品	10	①		⑤12～14週で作成する展示の企画案について(熟考し工夫が見られる10点、考えてはいるが工夫が必要である5点、完成しているが考慮が足りない2点)
		②		
		③		
		④		
		⑥	✓	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	・受講態度(遅刻、欠席、学修意欲欠如)が見られる場合は5点を減点する。(規律性) ・課題やその他について事前連絡がなく未提出が見られる場合は5点を減点する。(規律性) ・受講にあたり積極的な参加姿勢と発言が見られる。(発信力、傾聴力) ・講義内容からさらなる疑問、興味を自ら発見し、そのことを講義に還元することができる。(実行力、課題発見力、発信力) ・講義内容を受けて、そのなかで発見された課題について自ら解決策等を検討することができる。(創造力)
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑥	✓	
その他		①		
		②		
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
① 博物館における資料の意義、収集についての基礎的な事項を説明することができる。 ② 博物館における資料の扱いや分類・整理について基礎的な事柄を説明することができる。 ③ 博物館での展示の実際を知り、資料の活用として現在の博物館が行っている実際の活動(展示・教育普及活動)について説明することができる。 ④ 博物館での資料の活用に関する教育的理論について説明することができる。 ⑤ 博物館での展示の実際を知り、資料の活用の実践について試行し考察することができる。 上記に加え、次の事柄に到達した場合はレベル S(秀)とする。 ⑥ 現在の博物館の問題等を考察でき、その展望を語るることができる。	① 博物館における資料の意義、収集についての基礎的な事項が理解できる。 ② 博物館における資料の扱いや分類・整理について基礎的な事柄が理解できる。 ③ 博物館での展示の実際を知り、資料の活用として現在の博物館が行っている実際の活動(展示・教育普及活動)について理解できる。 ④ 博物館での資料の活用に関する教育的理論について理解できる。 ⑤ 博物館での展示の実際を知り、資料の活用の実践について試行することができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	「博物館資料とは」 博物館資料について、詳細な事柄を学ぶ準備として、概略を理解する。	講義 ディスカッション	博物館資料の概略について説明することができる。	小レポートの作成。	180	主体性 傾聴力 課題発見力
2週 /	「博物館活動と資料について」 博物館の活動と資料の関係について、活動や資料の意義について理解する。	講義 ディスカッション	博物館活動と資料の持つ意義を理解し説明することができる。	講義レジュメ、ノート を復習する。 小レポートの作成。 予習：発表内容を用意する。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
3週 /	「博物館資料の収集①西洋」 博物館資料の歴史について西洋を中心に概略をつかみ、博物館の成り立ちとの関係について考察する。 ※自分が興味のある欧米の博物館について発表する。	小発表 講義	博物館資料の歴史について西洋を中心に概略をつかみ、博物館の成り立ちとの関係について考察することができる。	講義レジュメ、ノート を復習する。 小レポートの作成。 予習：発表内容を用意する。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 発信力
4週 /	「博物館資料の収集②日本」 日本における博物館資料の概略をつかみ、現在の日本の博物館のあり方との関連性について考察する。 ※自分が興味のある日本の博物館について発表する。	小発表 講義 小テスト	日本における博物館資料の概略をつかみ、現在の日本の博物館のあり方との関連性について考察することができる。	講義レジュメ、ノート を復習する。 小レポートの作成。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 発信力
5週 /	「博物館資料の分類」 資料の成立の仕方と博物館種類別の分類について知識を得る。	講義 小テスト ディスカッション	資料の成立と分類について説明することができる。	講義レジュメ、ノート を復習する。 小レポートの作成。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
6週 /	「博物館資料の取り扱い①収集・保管・整理」 実際の例をあげ、収集の過程から展示室、収蔵庫内等での資料の管理について知る。	講義 小テスト	博物館資料の収集の過程について知り、さらに展示室、収蔵庫内等での博物館資料の管理について知ることができる。	講義レジュメ、ノート を復習する。 小レポートの作成。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
7週 /	「博物館資料の取り扱い②」 前週で得た知識を実際に試行する。実際に即しながら基本台帳、作品カードの記入方法を体験する。	講義 小テスト	実際に即しながら基本台帳、作品カードの記入方法等を体験し、知ることができる。	講義レジュメ、ノート を復習する。 小レポートの作成。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 発信力
8週 /	「博物館資料の活用①」 常設展、企画展それぞれの観点から資料の活用について考察する。	講義	常設展、企画展それぞれの観点から資料の活用について考察することができる。	講義レジュメ、ノート を復習する。 小レポートの作成。	180	主体性 課題発見力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	「博物館見学」 実際の博物館の見学や、学芸員の話聞くことで、資料の整理や保管の実際、安全対策や展示の現状について知る。	見学	実際の博物館の見学や、学芸員の話聞くことで、資料の整理や保管の実際、安全対策や展示の現状について知ることができる。	レポート作成 予習：発表内容を用意する。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
10週 /	「博物館活動に関わる理論①」 博物館資料の活用について、教育的理論から検証する。実際の展示例を参考にしながら理解する。 ※現場見学のレポートの発表。	小発表 講義	博物館資料の活用について、教育的理論から検証し、理論について理解することができる。	講義レジュメ、ノート を復習する。 小レポートの作成。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
11週 /	「博物館活動に関わる理論②」 博物館資料の活用について、教育的理論から検証する。実際の展示例を参考にしながら理解する。 ※各理論に沿った展示プランを発表する。	講義 小発表 小テスト	博物館資料の活用について、教育的理論から検証し、理論について理解することができる。理論に沿った展示プランを考えることができる。	講義レジュメ、ノート を復習する。 小レポートの作成。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力
12週 /	「博物館資料の活用実践①」 仮想資料を用いて展覧会を企画する。	実践 小テスト	多角的な視点で仮想資料に向き合い、自分の考えをまとめて提示することができる。	資料の調査をする。	180	主体性 創造力 傾聴力
13週 /	「博物館資料の活用実践②」 仮想資料を用いて展覧会を企画する。	実践	多角的な視点で仮想資料に向き合い、自分の考えをまとめて提示することができる。	資料の調査をする。 展覧会のプランを検討する。	180	主体性 創造力 傾聴力
14週 /	「博物館資料の活用実践③：発表」 仮想資料を用いて企画した展覧会について発表する。	実践 発表	自分の考えで企画した展覧会について、意図や工夫した点について述べることができる。	講義レジュメ、ノート を復習する。 小レポートの作成。	180	主体性 創造力 発信力 傾聴力
15週 /	「博物館と博物館資料の今後」 博物館と博物館資料の今後のあり方を考察する。	講義 ディスカッション	博物館資料の今後のあり方を考察することができる。	講義レジュメ、ノート を復習する。 小レポートの作成。	180	主体性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力